

レッスン 1--ルツ記 3 章 14-18 節

今も働かれる救い主  
～買戻しの権利のある親類～

3:14 こうして、彼女は朝まで彼の足のところに寝たが、だれかれの見分けがつかないうちに起き上がった。彼は、「打ち場にこの女の来たことが知られてはならない」と思ったので、3:15 「あなたの着ている外套を持って来て、それをしっかりつかんでいなさい」と言い、彼女がそれをしっかりつかむうちに、大麦六杯を量って、それを彼女に負わせた。こうして彼は町へ行った。3:16 彼女がしゅうとめのところに行くと、しゅうとめは尋ねた。「娘よ。どうでしたか。」ルツは、その人が自分にしたことをみな、しゅうとめに告げて、3:17 言った。「あなたのしゅうとめのところ素手で帰ってはならないと言って、あの方は、この大麦六杯を私に下さいました。」3:18 しゅうとめは言った。「娘よ。このことがどうおさまるかわかるまで待っていなさい。あの方は、きょう、そのことを決めてしまわなければ、落ち着かないでしょうから。」

10月4日、この素晴らしい日曜日に大阪インターナショナルチャーチによろこお越しくございました。私は、チャーリー・シーレンと申します。私の妻、テレサと私は、サザンバプテストの宣教師としてこの大阪で宣教活動をしています。長年日本で奉仕している私たちにとって OIC の皆さんは素晴らしい同胞、大切な友で、今朝こうして皆さんと時間を共にすることができることを光栄に思っています。

私は祝いごとが大好きです。日本もアメリカも、両国ともに素晴らしいお祝いの行事があります。

日本では、1月の第二月曜日が成人式ですし、3月3日はひな祭り、また3月の終わりから5月初旬にかけてはお花見のシーズンです。アメリカでは、復活祭、7月4日（独立記念日）、感謝祭、またクリスマス祝いをし、もちろん日本と同じように新年もお祝いをします。

また私は、卒業式や記念日、誕生日などの家族の行事も大好きです。

大阪で共に宣教する仲間でも、この9月にいくつかお祝い事がありました。2組の夫婦の結婚記念日もありましたし、私の誕生日は他の4人のメンバーと一緒に祝いました。そして、この9月の最高のお祝い事と言えば、もちろん、ルビー・ジェイン・ピーヴィーちゃんの誕生です！

このようなお祝いの伝統は、次の世代が大切なことを忘れることがないように、重要な価値観を受け継ぐいいていくために有効です。

教会でも、過去に祝った素晴らしい出来事があり、私たちにはその出来事の当事者となり次世代へ引き継ぐ特権が与えられています。本日は皆さんに、今日の聖書箇所織り込まれた主の晩餐の意味を見ていただけることと思います。

今日の聖書箇所は、ルツ記です。ルツは、モアブの地出身でした。ルツを含むモアブ人は、ロトと彼の娘の間に近親相姦によって出来た子どもにルーツがある部族でした。ですから、モアブ人たちはユダヤ人から見下されていました。

そしてルツは、あるユダヤ人の家族と出会います。エリメレクとナオミ、そして2人の息子です。彼らは、ベツレヘムで起こった飢饉のために、モアブの地に行くことを余儀なくされていました。そして、ルツはエリメレクとナオミの2人の息子のうちの一人と結婚することになります。

時を経て、女たちだけを残し、男たちは皆死んでしまいました。ベツレヘムでは状況がよくなっていると聞き、ルツはナオミと一緒にユダの地に戻ることを決心しました。モアブ人であるルツが、行ったこともない、しかもユダヤ人の町へ足を踏み入れるのです。ルツが受けるであろう差別的な態度や町中に噂話が広がる様子が容易に想像できるでしょう。

ナオミとルツは、社会的地位があるわけでもなく、ごくわずかのお金をもってベツレヘムに到着しました。その時はちょうど大麦収穫が始まる時期でしたので、ルツは、狩る者たちが既に収穫を終えた土地に落ち穂を拾いに行かせてくれるようにナオミを説得しました。ルツは落ち穂拾いの初日を振り返り、その日はボアズという人の所有する土地で落ち穂を拾ったことをナオミに報告しました。ナオミは感謝に満ち、ボアズが近親者で、買戻しの権利のある親類の一人であることをルツに伝えました。

ヘブライ語でגאל (gaal) という言葉とそれに派生する言葉は、旧約聖書で105回出てくる言葉で、またルツ記だけでも22回登場しています。この言葉は、「贖う」「贖い主」「救い主」「買戻しの権利のある親類」等と訳されています。「買い取る」もしくは「買い戻す」ということを意味するこの言葉は、旧約聖書の中のととても重要な概念です。ユダヤの文化では、破綻して土地や家、装具などの財産を失った親族がいた場合、それを買い戻すために近親者（肉親）が代価を支払うことができました。

主（ヤハウエ）は「あなたの救い主、あなたの贖い主（イザヤ書49：26）」と呼ばれています。ルツ記では、助けを必要とする失われた罪人（ルツ）が、救い主（買戻しの権利のある親類、ボアズ）のもとへやってくるという美しい描写を見ることができます。

### A. 買戻しの権利のある親類は・・・「守ってくれる」

14節で、ボアズは「打ち場にこの女の来たことが知られてはならない」と言いました。ボアズが誰にこう言っているのかは明らかではありません。相手はルツ、しもべ、彼自身、もしくは神でしょう。どうして、彼女がボアズの足元で一夜を過ごしたことが知れてはいけないのでしょうか？それは、彼らがまだ婚姻関係を結んでいなかったからです。

1. ルツの評判が傷つかぬよう注意を払い守ってくれる（ユダヤ人は既にモアブ人を見下していました）
2. 他の人がルツを助けるための妨げにならないように守ってくれる
3. 主の御名に恥じるような一切のことを避けるように守ってくれる

新約聖書の中でイエスが引用された最初の2つの戒めは、「偉大な戒め」や「一番たいせつな戒め」等と呼ばれています。（マタイ22：35-40、マルコ12：28-34、ルカ10：27）

マルコ12:29-31「イエスは答えられた。「一番たいせつなのはこれです。『イスラエルよ。聞け。われらの神である主は、唯一の主である。12:30心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』12:31次にはこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』この二つより大事な命令は、ほかにありません。』」

ローマ 8:34 「罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、私たちのためにとりなしてくださるのです。」

買戻しの権利のある親類がこのように注意を払って私たちを守ってくれるなら、私たちも他の人たちにそうすべきではないでしょうか？

### B. 買戻しの権利のある親類は・・・「備えてくれる」

3:15 には、「あなたの着ている外套を持って来て、それをしっかりつかんでいなさい」と言い、彼女がそれをしっかりつかむうちに、大麦六杯を量って、それを彼女に負わせた。こうして彼は町へ行った。」

とあります。いったいボアズは、ルツにどれくらいの量を与えたのでしょうか。

1. ここに出てくるヘブライ語では、六杯の「杯」という言葉が、量をはっきりとさせずに使われている。
2. ユダヤ人のタルグム（ヘブライ語が分からない人たちのためにアラム語で解釈すること）では、それが 6 ブッシェル（約 210 リットル）であった、と書かれている。「ルツは、それを運べるよう、並外れた強さを神から与えられた。(タルグム)」
3. 買戻しの権利のある親類が導くところにはどこでも、彼の備えがある

### C. 買戻しの権利のある親類は・・・「働かれる」

3:16 「彼女がしゅうとめのところに行くとき、しゅうとめは尋ねた。「娘よ。どうでしたか。」ルツは、その人が自分にしたことをみな、しゅうとめに告げて、」

買い戻された者である私たちも、このように神の御業を口にすることができますように。

1. 伝道・・・神が私たちにしてくださったことを伝える  
ギリシア語で説教する (kerusso) という言葉は、宣言する、布告するという意味

### D. 買戻しの権利のある親類は・・・「休まれる」

この章では、2つの安息を見ることができます。

3:1 「しゅうとめナオミは彼女に言った。「娘よ。あなたがしあわせになるために、身の落ち着く（休まる）所を私が捜してあげなければならないのではないのでしょうか。」

3:18 「しゅうとめは言った。「娘よ。このことがどうおさまるかわかるまで待っていなさい。あの方は、きょう、そのことを決めてしまわなければ、落ち着かない（気が休まらない）でしょうから。」」

どちらの安息がより重要でしょうか？

#### 1. キリストの安息が私たちのそれよりも重要である

- 主イエス・キリストは、ご自身の働きにより私たちの罪を取り除くという偉大な働きのために来られた。
- 聖書に出てくるイエスの最初の言葉は「『どうしてわたしをお捜しになったのですか。わたしが必ず自分の父の家（働きのもと）にいることを、ご存じなかったのですか。』（ルカ 2：49）」

- イエスが頻繁に語られたのは「わたしが天から下って来たのは、父のみこころ（働き）を行うため」（ヨハネ 6 : 38）ということ
- イエスの語られた最後の言葉は「完了した」（ヨハネ 19 : 30）。  
19 : 30 「イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した」と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった。」

## 2. キリストの安息が理解できるまで、誰も本当の安息を得ることはない

- 「11:28 すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」（マタイ 11 : 28）
- あなたは、誰かに与えるということをどのように実行しますか？キリストの安息は、主が与えられるものです。

## 3. 「彼は、自分のいのち（たましい）の激しい苦しみ（労苦）のあとを見て、満足する。」 (イザヤ 53 : 11)

- 「私たちは、神のわざを行うために、何をすべきでしょうか。」
- イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」（ヨハネ 6 : 29）